

淀川水系流域委員会 第97回運営会議（2008.7.17開催）結果報告		2008.7.25 庶務発信
開催日時	2008年7月17日（木）16:15～17:20	
場所	河川レンジャー中央流域センター 2F 会議室	
参加者数	委員6名 河川管理者3名 一般傍聴者（マスコミ含む）22名	
<p>1. 報告の概要：庶務より前回運営会議以降の経過報告がなされた。</p> <p>2. 審議概要 河川管理者より委員会への当面の要請事項についての説明がなされ、以下の審議がなされた（例示）。</p> <p>①河川整備計画（案）の説明について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備計画（案）について委員会の場でその内容について丁寧に説明させて頂きたい（河川管理者）。 →委員会はあくまで審議の場である。ただ説明していただくだけの会議をわざわざ公費を使って委員会でやる必要があるのか。 →整備計画案については一方的な説明だけではなく質疑や意見等もいただきたい（河川管理者）。 →もう意見が整備計画案に反映されることはないのだから説明していただく必要もないだろう。 →頂いたご意見等は今後の事業を進める上で十分参考にできると思う（河川管理者）。 ・単に説明を聞くだけであるなら、敢えて委員会を開催する必要もないということで前回委員会でも既に了解されていたはずだ。 ・中間意見はあくまで委員会意見としてまとめたものである。たとえ不足があったとしてもその意見に対する河川管理者の反論をしていただきたい。委員会と河川管理者との議論が必要で、説明を聞くだけでは意味がない。 →これまでの委員会で委員会意見に対する河川管理者の考え方は説明させていただいたと考えている。（河川管理者）。 ・委員会を開催し一方的に説明を聞くというのはいり得ない。河川管理者の説明のために委員会を開催する必要はない（委員長）。 <p>②庶務業務の一部直営化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庶務の役割については河川管理者もある程度把握しており、受付等の当日スタッフの一部を可能な範囲で、河川管理者が実施したいと考えている。（河川管理者）。 →委員会に対して河川管理者からの明確な要請がない以上、委員会運営上のテクニカルな議論は全く意味がない（委員長）。 →コストを大幅に減らすことについては前回委員会でお示し頂いており、河川管理者としても協力できればと考えている（河川管理者）。 <p>③委員会にお願いする事項の明確化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原案に対する意見をお聞きする任務は終了している。新たな、審議をお願いするものでないが、進捗点検に役立つのでこれまでのご意見をとりまとめていただくのはお願いしたいと考えている。（河川管理者） →進捗点検への意見は整備計画ができてからの話である。進捗点検の準備のために審議をやって欲しいのであれば、きちんと要請事項を示して欲しい（委員長）。 ・我々は個人の損得で議論をやっているわけではない。関係府知事からも「関係正常化に努め論点をまとめて欲しい」ということを河川管理者と委員会の両方に言われており、委員会として是非取り組んでいきたいと思っているが、河川管理者の資料には新たな要請についての記述が全くない。府知事の要請もないがしろにしている。（委員長）。 ・6/18に行われた委員会3役と布村前局長との会談において、前局長より「委員会との関係を改善したい」ということも言われており、我々は今後の関係改善のためにも委員会3役と新局長との会談を要請したい（委員長）。 <p style="text-align: right;">以上</p>		

※運営会議の結果報告は、主な決定事項等の会議結果をお知らせするために庶務から発信させて頂くものです。